



Seigetsuki

1. 故人やご家族のご意向に合わせ、自由なかたちのセレモニーをご提案。スタンダードなスタイルの祭壇を設えることももちろん可能です。
2. 仙台駅や繁華街からも近く、高速道路、地下鉄をはじめとする公共交通機関を利用したアクセスも至便。
3. 控室はホテルのスイートルームを思わせる広さと間取り、ラグジュアリー感。リビングダイニング&キッチン、ベッドルーム、和室、バス&トイレタリーを擁しています。

4. セレモニーの場を転換、会食場としてセッティング。移動やウェイティングの手間なく、和やかな会食へ。
5. ホールへと至るホワイエも、赤をアクセントカラーにしたモダンな印象。この空間をセレモニーなどに活かすご提案も。
6. 7月5日にオープンした【仙台迎賓館 斎苑】第三の会館「家族葬ホール」。1館1ホールで1日1組のスタイルを貫いています。ホールには広い控室が隣接。

「家族葬」は、「家族想」。 家族を想うところを、セレモニーにこめて

『清月記』が提案する「家族葬」。その送るかたちの幅をさらに広げる新たな空間が誕生しました。『仙台迎賓館 斎苑』のエリア内、本館・別館に続く第三の会館「家族葬ホール」です。

仙台の街なかからほど近いセレモニーホールであり、遠方からのアクセスにも至便な「仙台迎賓館 斎苑」。本館・別館併せて5つのホールを擁し、ごく数名の小規模なセレモニーから1000名の大規模なセレモニーまで、幅広いスタイルの「家族葬」を実現してきました。7月5日にオープンした「家族葬ホール」は、その中でも特に小規模なセレモニーに対するニーズに応えた「1日1組」の完全貸切ができる会館。明るいホワイエを進めば、理知的なレッドカラーが印象的なホールへと至ります。ご家族のみで見送るあたたかな式から、20〜30名さまが集う厳かな式まで、さまざまなスタイルの家族葬が可能です。

「わたしたち『清月記』にとって家族葬とは、ご出席なさる方々の人数やご予算といった「規模」による定義ではありません。近代から昭和の時代まで、ご葬儀は地域社会との係わりがとても密接で、故人さまとご家族のため、というよりも、ご近所や会社関係の方々との付き合いが先に立つもの、という側面が強かったと思います。しかし近年、「個」の尊重や家族の結びつきが見直され、かつ高齢化・核家族化が進んだことにより、葬儀は「大切なご家族との別れを惜しむもの」「故人を悼み、心からの想いで送るもの」という本来の姿に立ち

返るものへと変化してきました。わたしたちは、そんなお客さまのニーズに応え、故人とご家族さまの意思を尊重し、故人からの、そして故人への最後の希望や贈りものを叶えるためのパートナーです。家族葬は、家族想。送るかた、送られるかたが想いを伝えあうことができるセレモニーを、ご提案していきます」（仙台迎賓館 斎苑ゼネラルマネージャー・菅原啓太さん）

儀礼的な祭壇にとられない自由度の高いホール。その隣には、広いリビングダイニング&キッチンにベッドルームと和室、バス・トイレを擁するゆったりとした控室が。 「ご家族との、最後の大切なひととき。その時間をゆっくり過ごして戴くと同時に、招待者としてのご心労や多事多端のなか、少しでもお寛ぎ戴けるようにと十分な広さをご用意いたしました。長い方ですと、3〜5日をお過ごしになれる場合も多いですから」

家族を想う、かたち。その最新形がこの「家族葬ホール」に実現されています。

セレモニーの疑問や相談は
お気軽にお問合せください。

事前相談受付中

0800-888-5777

24時間365日受付